

平成 23 年度第 6 回、平成 24 年度第 1 回定例会報告

はじめに

倫理研究会では、2012 年 2 月 12 日(月)に平成 23 年度第 6 回定例会(出席会員 15 名)を北海道開発技術センター会議室で、2012 年 4 月 23 日(月)に平成 24 年度第 1 回定例会を中大実業(株)会議室(出席会員 20 名)において開催しましたので報告します。

■第 6 回定例会

第 6 回定例会では、佐々木、川浦両技術士より『土木技術者の倫理』(第 6 章)についての「解き方」その 2 として、

1. 功利主義とは
2. 功利主義の三つの判別テスト
 - 1) 功利行為 T、2) 費用便益 T、3) 功利規則 T
3. 個人尊重主義とは
4. 個人尊重主義の三つのテスト
 - 1) 黄金律テスト
 - 2) 自滅テスト
 - 3) 権利テスト

5. モラル問題を解く道具

について、再度解説されました。

その後、第 6 章の 3 つの事例「1. 火災検知器の機能と価格、2. 道路の拡幅(事故防止策)と自然保護(樹木の保全) 3. 自動車の機能改善費と事故に対する補償費の相対」3 例について各々の争点について整理した結果が報告されました。

- a. 事実に関する争点
- b. 概念に関する争点
- c. 適用に関する争点

◎ 事例 1 について

・相反問題として→ 選択 1 と選択 2 の相反(容易、

想像的折衷案、困難)

・線引き問題として→ 当事者が判断すべき選択肢を選択 1 と選択 2 の間に選択 A、B、C を設けて整理した。

そして、解き方として

- ・功利主義……最大多数の最大幸福を選ぶ
 - a. 功利行為テスト
 - b. 費用便益テスト
 - c. 功利規則テストで解析
- ・個人尊重主義
 - a. 黄金律テスト
 - b. 自滅テスト
 - c. 権利テスト

各々の判別テストにより判断を試みています。



発表する佐々木幹事と川浦技術士



会員間での意見交換

◎ 事例2について

- ・相反問題として→『道路の拡幅』と『樹木を伐採する計画には断固反対』の相反
- 創造的折衷案として、樹木30本の移植(移植が可能であれば……)
- ・線引き問題として
 - ① 『道路の拡幅』…道路両側の樹木30本を伐採
 - ② 『道路の拡幅』…道路両側の樹木30本の移設 or 片側への拡幅(樹木の伐採 or 移植)
 - ③ バイパスの整備
 - ④ 自動車の利用規制(他交通機関(バス、鉄道等)の整備、TDM、ロードプライシング、税金)

その後、事例1と同じく功利主義と個人尊重主義各々の各判別テストによる判断を試みた結果が報告されました。

◎ 事例3について

- ・相反問題として→リコールの実施(安全)と死亡、負傷、車両の損害等による損失補償を行う(コスト)の相反
 - ・線引き問題として
 - ① リコールの実施(安全)
 - ②
 - ⑤ 死亡、負傷、車両損害等に対し損失補償を行う
- その後、同様に判別テストで判断した結果が報告されました。

研究会員相互の意見として、事例1では『安全と福利』がトレードオフの関係、事例2では『環境と開発』という形で判断するとき、どのようなアプローチが良いのか、事例3では企業ブランドの社会的損失という概念、企業の視点、市民の視点でどう考えるのか等が挙げられました。

その後、佐崎幹事より、第7章の要約に関する説明がありました(担当 佐崎幹事、立花技術士)。

■平成24年度第1回定例会

幹事会より

- a. 平成24年度の研究会に進め方と定例会、幹事会の開催スケジュール及び活動報告書の取りまとめ

- b. 技術者倫理講習会の地方開催(案)について
- c. 第3回技術者倫理フォーラム(5月17日開催)の役割分担

について提案・報告されました。

- ◎ 第3回技術者倫理フォーラム 模擬報告会 佐々木幹事、日下部幹事より、第3回技術者倫理フォーラムで講演する事例研究について模擬報告を行いました。
 - ・事例研究(1) ～事例で示すモラル問題解決～
 - ・事例研究(2) ～考えようモラル問題～

★解き方の説明★

- ① モラル上の不一致の原因を探る：「事実上を巡る争点」「概念上の争点」「適用にあたっての争点」として整理する。(第4章：モラル思考序説)
- ② モラル問題の解き方：「線引き問題」「相反問題」と捉えて解く。(第5章：モラル問題を解く方法)
- ③ モラル問題回答の検証：上記のモラル問題の解き方を「功利主義」「個人尊重主義」で検証する。(第6章：モラル問題を解く判別テスト)

★具体的な事例★

- ・「公衆の安全と福利」と「企業の一員としての利潤の追求」
- ・「土木技術者の倫理(能登顧問作成)事例5.3の改良版」



解説をする日下部幹事と佐々木幹事

以上について、フォーラムでの発表資料(素案)を基に解説されました。

その後、各出席会員から、質問や指摘事項及び改善点等について意見交換がなされ、フォーラムまでに両担当者が最終版を作成し、事例研究発表に臨むことを確認しました。